

事務事業名	運動公園環境整備事業	事業期間	～	年度	係内番号	05
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	連絡先	72-8399	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	教育大綱	0302	スポーツを通じた健康づくり		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える		
			実行計画	05	スポーツ推進計画	0302	スポーツ施設の充実		

予 算 事 業 名	体育施設環境整備事業費	会計コード	01	款	10	項	06	目	02	事業	02
-----------	-------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
利用者が安全かつ快適に利用できる公園になるよう、公園内の草木等に関する各種業務の委託を行い、運動公園内の環境整備を行う。具体的な業務としては、草刈・植木刈込み・林内整備、芝生管理、病害虫駆除（アメシロ消毒等）、テングス病及び枯枝伐採、支障木伐採等を行う。

現 状 と 背 景
(どう し て)
運動公園は33.8ヘクタールの広さがあり、500本を超える桜・ケヤキ・カラマツなどの落葉樹、アカマツ・ヒマラヤスギなどの常緑針葉樹、ツツジ・サツキ・ドウダン等の生垣低木など多種多様な植栽となっている。公園を安全に利用していただくために、草刈・間伐・枝打ち・剪定・芝の手入れなどの定期的に作業を行う必要がある。台風等での倒木、木や芝生が枯れる、アメシロの発生といった事象には、安全・景観上放置することはできないため、迅速に対応する必要がある。

目 的
対 象
受 益 者
(誰のために)
公園を利用する全ての利用者
対 象
(直接働きかける)
公園を利用する全ての利用者及び委託業務請負者
意 図
(どんな状態にしたいか)
公園内の環境整備を定期的もしくは緊急的な行うことで、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整える。

手 段 ・ 方 法
(どう や っ て)
運動公園開設時に定植した樹木は40年を超え大木化・老木化しているため、植え替えをする際は運動公園植栽基準に基づき実施する。芝生管理・草刈など長期間に渡る業務は通年で、特定の樹木の伐採や消毒など期間が限られる業務はその都度、業務契約を締結し、業者等と協議しながら事業を実施していく。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1 公園内の環境整備のための委託業務発注	委託数	件	委託業務発注数	15
成果指標	1	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		苦情の減少	非苦情発生率	%	(1-苦情のあった日数/365日) × 100	100

実 施 状 況	項 目	単 位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			12,283,006	16,261,000			
財 源 内 訳	事業費等(a)	円					
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
活 動 指 標	委託数	目標	15	15			
		実績	16				
	達成率	%	106.67	-	-	-	-
	-	目標	-				
実績		-					
-	達成率	%	-	-	-	-	
	非苦情発生率	目標	100	100			
実績		%	92				
-	達成率	%	91.78	-	-	-	
	目標	-					
-	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	

備 考

事務事業名	運動公園環境整備事業		事業期間	~	年度	係内番号	05
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係		連絡先	72-8399	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果変異動指標～	アメリカシロヒトリに対する樹木の消毒の遅れ及び大量発生により、施設利用者からの目撃報告及び苦情があった。また老朽化した園内屋外トイレについて、悪臭や気味の悪さなどのご意見もあり、苦情があった日を0日とすることはできなかった。				
	～成果～	危険木の伐採や倒木処理、蜂の巣駆除など、緊急的な委託業務を行ったことにより、施設利用者が安全に利用できた。				
	～課題～	速やかな自営・委託による樹木消毒・撤去・伐採等作業、また公園内トイレの清掃委託業者への継続的な指示により、施設利用者へ気持ちよく公園を利用してもらうことにより、非苦情発生日を目標に近づける。				
	改革・改善の方向性(ACIT)の内容及び内容	倒木等による緊急支障木伐採の他に、運動公園内の老木や倒木の恐れがある樹木をリストアップし、計画的な伐採を行い安全性の向上及び美観の確保に努めることにより、成果を向上を目指す。また、比較的安価なシルバー人材センター職員を活用し、ウッドチップ敷きやグラウンドの整備などを行い、低コストでの成果向上に努める。				

作成担当者	小林 七緒樹				
最終評価責任者	中村 浩明				
最終評価年月日	令和元年5月16日				

事務事業名	スケートセンター・ゴルフ練習場・プール管理運営事業	事業期間	～	年度	係内番号	06
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	連絡先	72-8399	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0302	スポーツを通じた健康づくり		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える		
			実行計画	05	スポーツ推進計画	0302	スポーツ施設の充実		

予算事業名	スケートセンター・ゴルフ練習場・プール管理運営費	会計コード	01	款	10	項	06	目	02	事業	05
-------	--------------------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
 (簡潔にわかりやすく)
 平成18年度（プールは平成28年度）から指定管理者制度を導入し、指定管理者が施設の管理運営をしている。事業経費として、指定管理者への指定管理料と茅野市減免規定による減免分等を計上し、指定管理者と連携をとりながらスケートセンター・ゴルフ練習場・プールの管理運営を行っている。

現状と背景
 (どうして)
 プールは昭和52年、スケートセンターは平成元年、ゴルフ練習場は平成6年に開設され、(社)茅野市開発公社の解散により平成18年度から茅野市に運営が移管された。屋外施設のため経年劣化が早い。また、施設の特異性、競技として専門性、安全性を考慮し、スケート場、プール等の管理運営に長けている指定管理者を公募し、管理運営をしている。

目的
 受益者
 (誰のために)
 スケートセンター・ゴルフ練習場・プール利用者

対象
 対象
 (直接働きかける)
 スケートセンター・ゴルフ練習場・プール利用者及び指定管理者（株式会社パティネレジャー）

意図
 (どんな状態にしたいか)
 スケートセンター・ゴルフ練習場・プールの円滑な指定管理運営を行い、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整える。

手段・方法
 (どうやって)
 管理運営にあたり、利用者からの要望を精査し、指定管理者と協議しながら事業を進めていく。施設の修繕等にあたっては、指定管理料の中で対応できるものと、市で対応すべきものを精査し、優先度の高いものから実施していく。また、指定管理者のモニタリングを行い、運営状況や適正な管理運営が実施されているかをチェックし、指定管理料の適正な運用がなされているかを把握していく。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	指定管理者の業務実施状況の確認	モニタリング回数	回	モニタリング回数（目標：月に一度）	12
		2	指定管理料内での運営確認	最終収支率	%	指定管理料/指定管理料-営業収支（100万未満切り捨て）	100
		3					
変更履歴							

評価指標の作成	成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	各施設利用者数の増加	施設利用者数	人	スケートセンター・ゴルフ練習場・プールの年間利用者計	90,000
		2					
		変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	52,125,030	51,907,000	
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	52,125,030	51,907,000			
活動指標	モニタリング回数	目標	回	12	12		
		実績	回	10			
		達成率	%	83.33	-	-	-
	最終収支率	目標	%	100	100		
		実績	%	100			
		達成率	%	100.00	-	-	-
-	目標	-					
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	施設利用者数	目標	人	90,000	90,000		
		実績	人	82,677			
	達成率	%	91.86	-	-	-	
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	スケートセンター・ゴルフ練習場・プール管理運営事業	事業期間	～	年度	係内番号	06
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	連絡先	72-8399	

事業評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事業後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果変異動指要標因分～析	夏季の猛暑により、ゴルフ練習場の総入場者数が若干減少したが、プールの総入場者数が例年より大幅に増加した。また、スケートセンターの入場者数も小平奈緒選手の活躍等により増加しており、3施設合計の入場者数は昨年度比約5%の増加している。				
	総合評価	モニタリングでは、特に安全対策について配慮をされており、スケートでは指定管理者が独自に講習会の受講やヘルメットの貸出等を行っている。これにより、施設利用者が安全に利用できていて、怪我等の防止につながっている。				
	課題	最終営業収支は赤字にならず指定管理料内での営業が行えており、昨年度に比べて総施設利用者数は増加しているが目標値には至らないため、積極的な広報活動や指定管理者の自主事業を行っていく必要がある。				
改革・改善の方向性	成果 コスト	現状維持 現状維持				
改善の方向性の内容	成果 コスト	平成28年度から始まった指定管理期間が満期となる令和2年度までは同コストでの事業となるが、令和3年度以降の指定管理事業に向けて、ゴルフ練習場・プール・スケートセンターそれぞれの運営継続・廃止・変更を検討し、より利益率の高い指定管理にする。また、その他に指定管理が有効的に作用する事業を模索し追加するなど、施設利用者の増加やサービス向上を目指す。				

作成担当者	小林 七緒樹				
最終評価責任者	中村 浩明				
最終評価年月日	令和元年5月16日				

事務事業名	スポーツ施設管理費	事業期間	～	年度	係内番号	04
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	連絡先	72-8399	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱ID	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0302	スポーツを通じた健康づくり		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0101	市民の学びを支える		
			実行計画	05	スポーツ推進計画	0302	スポーツ施設の充実		

予算事業名	体育施設管理費、バッティングセンター管理運営費、体育施設整備事業費	会計コード	01	款	10	項	06	目	02	事業
-------	-----------------------------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
運動公園のスポーツ施設及び体育練成館の管理運営を行い、利用者が安心・安全に利用できるようにする。運営に必要な消耗品等の購入、設備や備品類の保守・点検、清掃、受付業務等の発注のほか、故障した施設・備品の修繕を行う。また、老朽化した施設の機能回復や、規則改正等により施設基準を満たさなくなった施設の整備や長寿命化工事等を公共施設等管理計画等に基づき実施することで、誰もが安心・安全にスポーツを楽しめる施設になるようにする。

現状と背景
(どうして)
施設運営に必要な光熱水費・燃料・消耗品等の購入のほか、設備点検、受付、清掃業務等の委託業務発注や施設の補修など、公園施設の維持管理を行っている。特に施設・設備は供用開始から約40年が経過し老朽化が進んでいるため、毎年多数の故障が発生し修繕や改修工事が必要になっている。大規模改修は高額となるため、計画的に実施する必要がある。

目的
対象
受益者
(誰のために)
運動公園スポーツ施設及び体育練成館の利用者
対象
(直接働きかける)
運動公園スポーツ施設及び体育練成館の利用者及び各委託・工事業務受注者
意図
(どんな状態にしたいか)
運動公園スポーツ施設及び体育練成館の利用者が、それぞれの目的に応じて施設を利用する際に、快適かつ良好で安心・安全な状態で使用できるようにする。

手段・方法
(どうやって)
施設利用者が安心安全に利用できるよう施設の運営に必要な物品購入や点検、委託等を行う。不良箇所・改善必要箇所は日ごろの点検のほかに、利用者やスポーツ団体からの要望などからも把握し、必要な補修・工事を行い安全に使用できるようにするとともに、施設機能の保全を図る。大規模改修等は、公共施設等管理計画や利用者等からの要望に基づき、長寿命化や設備機能の向上を図り、利用ニーズに合った施設の整備を行う。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	不具合箇所の発見・把握	調査数	回	施設・設備・備品等の調査回数	52
		2	老朽化した施設・設備の機能回復等	工事実施率	%	工事実施件数/工事必要箇所×100	80
		3					
変更履歴							

評価指標の作成	成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	施設利用者数の増加	施設利用者数	人	運動公園施設・体育練成館利用者数	310,000
		2	バッティングセンターの延べ利用回数の増加	バッティングセンター利用回数	回	打席カウンター数（3～11月は1/2、冬季営業期間はそのまま）	70,000
		変更履歴					

実況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	325,284,849	105,366,000	
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円	46,800,000				
	その他特定財源	円	128,891,315	43,454,000			
	一般財源	円	149,593,534	61,912,000			
活動指標	調査数	目標	回	52	52		
		実績	回	48			
		達成率	%	92.31	-	-	-
	工事実施率	目標	%	80	80		
		実績	%	88			
		達成率	%	110.00	-	-	-
-	目標	-					
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	施設利用者数	目標	人	310,000	310,000		
		実績	人	298,641			
		達成率	%	96.34	-	-	-
	バッティングセンター利用回数	目標	回	70,000	70,000		
		実績	回	67,301			
		達成率	%	96.14	-	-	-
備考							

事務事業名	スポーツ施設管理費	事業期間	~	年度	係内番号	04
担当部署	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	連絡先	72-8399	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	～成果変異動指要標因分～析	目標を下回った要因として、庭球場の大規模改修工事に伴いクレーコートが例年より早い10月から利用が不可能になったこと、猛暑の影響から6月～8月の各施設利用者数及びバッチングセンター利用回数が前年より少なかったことが考えられる。					
	総合評価	工事残金で誘導灯更新工事や各施設の修繕小工事を行った。これにより、各施設の安全性向上や体育協会の要望対応に寄与した。					
	課題	工事実施率が目標値を上回ることができたが、すべて対応できたわけではない。利用者が安心・安全して利用でき、利用者数を増加させるには、計画的に大規模改修工事を行う必要がある。					
	改革・改善の方向性(ACIT)策	受付窓口業務について、机の中での公金管理、月一の繁忙期(調整会議)時以外の通年1人営業が安全上や潤滑な運営の面で課題となっている。この委託業務の長期継続契約平成31年度末までのため、料金改定による収入増を見込んで設計を見直し、2人での営業時間の増やレジの導入などを検討し、施設利用者の利用しやすさ、公金管理の安全性向上を目指す。また、劣化し怪我につながる恐れのある施設は、早期に補助金等を利用しながら大規模改修工事を行う。					

作成担当者	小林 七緒樹				
最終評価責任者	中村 浩明				
最終評価年月日	令和元年5月16日				